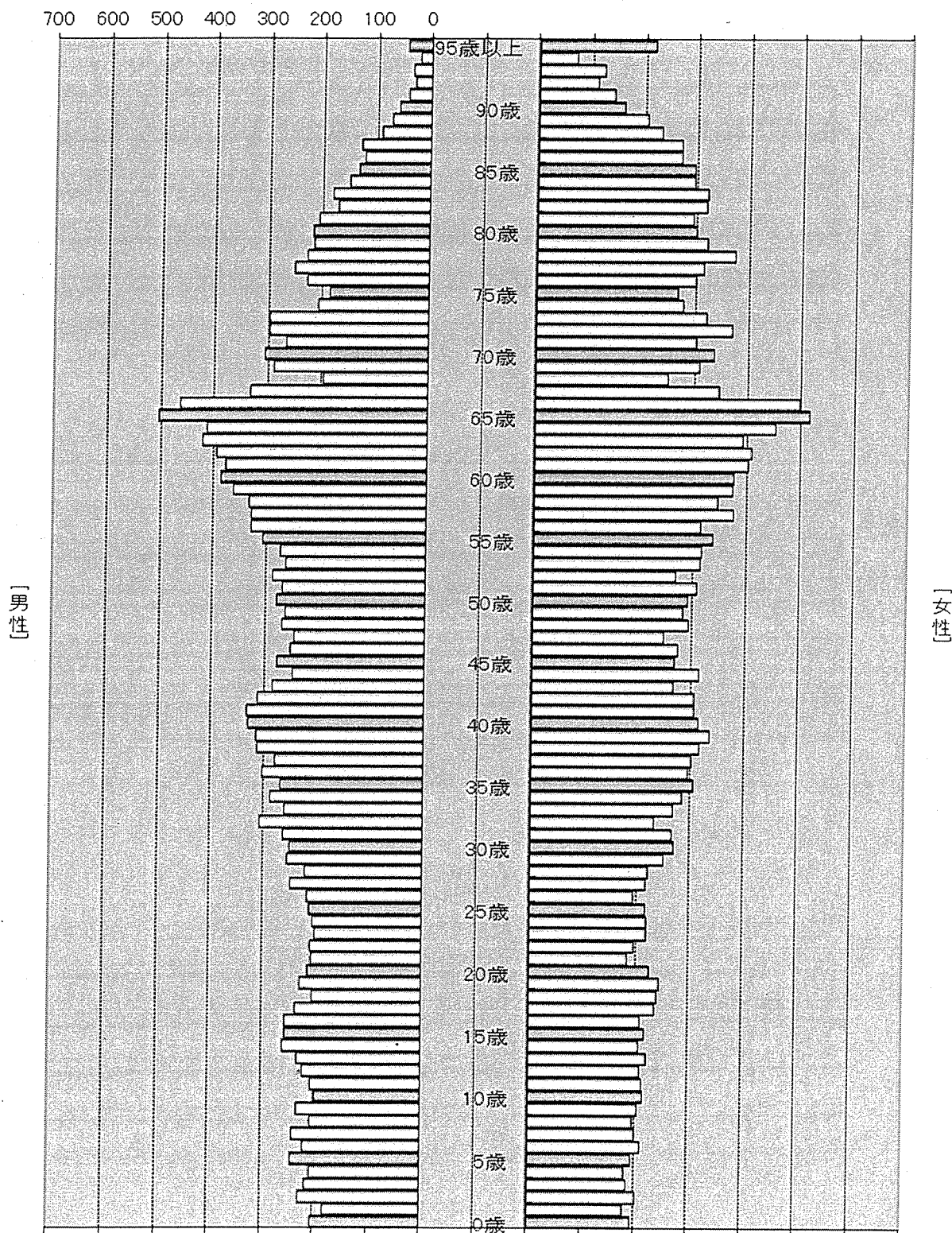


(3) 人口構造

● 人口構造はひょうたん型

本市の人口構造をみると、第1次ベビーブームに当たる65歳前後の人口が最も多く、次いで40歳前後の人口が若干多くなっています。全体的には「ひょうたん型」に近い状況です。

人口構造



住民基本台帳（平成26年4月1日現在）

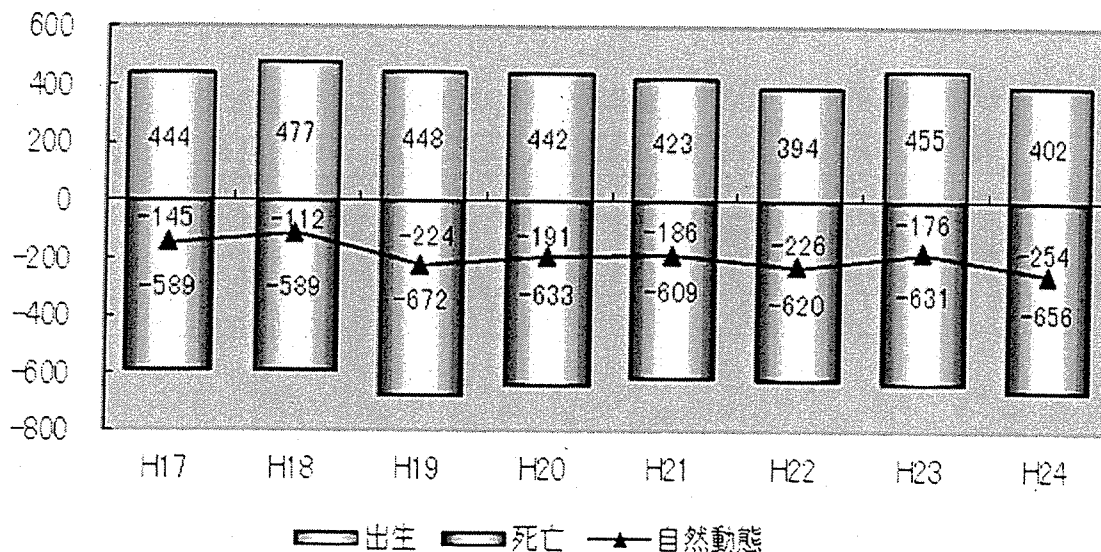
(4) 人口動態の推移

① 自然動態

● 死亡数が出生数を上回っており、自然減の傾向が続いている

倉吉市の自然動態をみると、平成 17 年度以降で出生数は 430 人前後で推移しており、死亡数は 700 人前後で推移しています。結果、死亡数が出生数を上回り、ここ数年間は年平均で約 200 人の自然減が続いています。【図-5】

図-5 自然動態(鳥取県人口動態統計調査)



② 社会動態

● 県外、県内とも転出が転入を上回っているが、近年、社会減は縮小傾向

倉吉市の社会動態をみると、平成 17 年度以降で県内、県外とも転出が転入を平均でそれぞれ約 80 人、180 人と上回って推移しており、ここ 5 年間は平均約 170 人の社会減となっています。【図-6】

図-6 社会動態(鳥取県人口移動調査)

